

中里北部地区

中里北部地区は、新しく住宅開発された地域と古くからある地域とが混在しています。公園も多く、寺家町周辺では、田園風景も見られ、緑豊かな地域です。地域の活動には、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が大勢参加し、取組が継続しています。

また、地域ケアプラザを拠点として、子ども、高齢者、障がい者などを対象とした活動が盛んです。ちょっとした困りごとを地域のボランティアでお手伝いする「ちょこボラ」(第2期～)、地域全体で見守りの輪を広げる「気づきの和連絡会」(第3期～)などを通じ、身近な地域で支え合える関係づくりが進んでいます。



地区内の町丁目

鴨志田町、寺家町、たちばな台一丁目、たちばな台二丁目、成合町

第4期計画の振り返り

- コロナ禍の後、若い世代も企画から協力し、時代の変化に対応した新しいやり方を取り入れながら、お祭りなどの行事が盛大に復活した。
- マラソン大会等の地域行事に子ども達や大学生が多く参加し、活躍してくれた。
- ちょこボラ、ミニデイサービス、食事会などをやり方を工夫しながら継続し、住民同士で見守り、支え合っている。
- 気づきの和ポストを設置し、住民の声を拾う取組が始まった。また、気づきの和通信「ごきげん」の発行が始まり、気づきの和連絡会の取組や地域の良いエピソードを地域に広く発信した。
- 時代の変化に合わせた新しいニーズに対応しながら、住民一人ひとりがまちづくりの一員として主体的に活躍する地区にしていきたい。



推進会議の主なメンバー

連合町内会、単位自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、青少年指導員、スポーツ推進委員、家庭防災員、環境事業推進委員、PTA、トゥギャザー、ひろがりサロン、かも☆ん、ちょこボラ、森ノオト

担当地域ケアプラザ：鴨志田地域ケアプラザ

地域で行われている活動



どんたく



スポーツフェスティバル



バス旅行

めざしたいまちの姿

一人ひとりが地域づくりのために 行動（考えて動く）し、 安心して住み続けられるまち

目標1 子どもから高齢者まで、それぞれが地域で役割を持つ場を作ろう

取組

- 一人ひとりが地域のためにできる“ちょっとした”役割を考えてみよう。
- 多くの人が地域活動に参加しやすくなるよう“きっかけ”づくりをしていこう。
- 小学生や若い世代にお祭りの企画から関わってもらうなど、多世代が協力して地域活動を盛り上げていこう。
- 寺家ふるさと村や地区内の大学などのまちの宝を活用して地域活動を広げていこう。

目標2 地域全体でつながり、ちょっとした変化に気づいて、共に話し合おう

取組

- 周りの変化に気づけるよう、日頃からあいさつを大切にすることで、地域全体でつながっていこう。
- 子育てや介護などの悩みを住民同士で気軽に相談できる場を作っていこう。
- 学校や企業などで「認知症サポーター養成講座」を継続しながらも、さらに地域全体で認知症の方に対する理解を深め、見守りの視点を広げていこう。
- 気づきの和連絡会*や気づきの和ポストなどを活用して地域の中で気づきを共有し、話し合っていこう。
- 障がいのある方などにも防災訓練や地域活動に参加してもらい、協力や助け合いの機会を作っていこう。

目標3 時代の変化に合わせたやり方を取り入れながら活動していこう

取組

- 回覧板や掲示板による既存のやり方に加え、SNSなどのICTによる新しいやり方も取り入れながら、地域活動を多くの人に知ってもらおう。
- 様々な世代が主体的に参画できるような地域活動の運営をしていこう。
- 仕事や子育てと地域活動が両立できるよう、行事への参加の仕方、会議の持ち方などを工夫していこう。

*気づきの和連絡会：誰もが見守り、見守られるまちを作るため、3か月に1回、自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員、小中学校、PTA、大学、病院、薬局、企業、NPO、ボランティア団体、障がい者施設、地域ケアプラザ、区役所などが集まり、情報交換や話し合いを行う連絡会